

# 平成 11 年度 教育課程（算数科）

「ゆめ・未来」・「生きる」・「創造する算数」

平成 11 年 8 月 20 日（金）午前 9 時 14 分～ 保土ヶ谷公会堂にて

## 講演 「新学習指導要領とこれからの算数教育の課題」

講師 国大助教授 石田先生

### 算数科改善の基本的な考え

ゆとりの中での基礎基本の確実な定着

楽しさと充実感のある学習

児童の主体的な活動の重視

時間をとってじっくり指導する

感覚を育てる

一応の解決を得る

算数の良さに気付く有用、簡潔、一般化、正確、能率、発展

工夫して自力で解決できる

同じ問題でもっとよく解けないか

解決方法のアイデアに気付いたり作り出す

学習課題をもったり問題づくりができる

基礎・基本的な知識や技能の習熟

NHKで放送している「マテマテカ」

### 提案 1 横浜プランの具現化に向けて

生きる力を強調～「自ら学ぶ」，「学び続ける力」  
子供の見方を変える

「教えられる対象としての子供」 「自ら生きていく子供」

学びの意味を考え直し，生き方の推進をする 「自ら生きていく子供」を支援

「教師が教える」から「子供のわかりかた」「誤り方」をとらえ，じっくりと子供とつきあう

「学び」を，「その過程で多くの人と接し，いろいろな考え方があることに気付き，それを生かして，とも  
えながら考えを深めていく行動」と考える

子供はどのような授業をのぞんでいるか，どのようなみちすじで解くか，日常の生活場面の中から  
数量関係を見つけ，楽しさを見い出す，他の教師や地域の人と協力して学習の展開を工夫する

### 提案 2 新プランと算数のかかわり ～ゆとり・活力・魅力あるさんすう～

一人ひとりの多様な発想を追求したり，個々の習熟の時間をもつ

子供の自己実現ができる時間と場を保障し，支援し，創造する算数を追求する

「ゆとりある算数」＝「じっくり考える算数（時間・場面・空間）」

「活力ある算数」＝「広がる算数」「共に学び合い，深めたり広めたりする算数」

「魅力ある算数」＝「楽しい算数」

学び合い，他の教師や地域社会との連係で楽しい算数を実現し，楽しさ・良さ・充実感を味わわせたい

共に学び合う多様な学習環境の形成，多様な学びの場の設定

（少数の学習，個々の課題の設定と追求）。教室外から問題を見つけること。

教科にとらわれず横断的・縦断的学習設定，相互に関連づける学習。「される評価」から「する評価」

実物を体験するなど感覚を豊かにする

自分で作り出す算数，たとえば計算の仕方を自ら見い出すなど

### 提案 3 新世紀の算数学習の姿とは ～算数で輝いている子供の成長像～

例：「敷きつめ活動」を紹介～多くのアイデアを思い浮かべる，発展させ，感覚を豊かにする

### 提案 4 移行期間の準備～留意事項，指導内容～ 手順と移行措置

平成 11 年度：学校教育目標の設定と全体計画の作成

詳細は提案資料  
P33～を参照